

言葉も心も通わせる医師に

淡民中学校 三年 佐々木 礼子

「国境なき医師団」。国、人種、宗教、立

場に関わらず、医療が届かない人々を救う仕

事。紛争に巻き込まれて身体が不自由になっ

た子供、親を亡くした赤ちゃん、長い間飢餓

に苦しむ被災者に医療活動を届ける姿に憧れ

自分の夢になりました。同じ志を持つ世界中

から集まったスタッフと、意思疎通を図りな

から患者さんに寄り添って「心」も「身体」

も両方支えたいと思います。

ビトリアは自然豊かな街で、自然環境を

活かした健康づくりが盛んです。私はビトリ

アで、自然療法やストレスケアの考え方に

ついて学びたいと考えています。例えば、ビ

トリアでは自然の中に身をおくことで、薬

を使わず心身を健康に保つ取り組みが行われ

ているようです。心と体、両面から治療する

考え方を、私も学びたいです。また、カナダ

での福祉体制を知り、日本との違いも知りた

い
です。

私は昨年のスピーチコンテストを見たとき、出場者の皆さんの熱い想い、そして自信に満ちた表情でスピーチをする姿に、衝撃を受けました。私も、自分の考えを伝えられる人になり、夢に向かって進みたい。そう思い、あの時から二度目の応募を決めました。

私は現在、生徒会副会長を務めています。

この一年間、自分を成長させるために相手の考えを受けとめた上で自分の意見を伝え、行動することを中心に留めて活動してきました。ビクトリア市研修で出逢う多くの人達とコミュニケーションを取り、たくさんの方のことを吸収していきたいです。

私がビクトリア市研修で得た経験や成果を活かしたいと思うことは二つあります。一つ目は英語を通して、人と心を通わせるコミュニケーションを取り、スピーチ力を付けることです。将来の夢を実現する為には医学の知識だけでなく異なる文化や考えをもつ人とともに協力する力が必

要だからです。二つ目は自分がピロトリアで見聞きたしたことについてより理解を深めることです。異文化の医療と日本の医療の特徴について考え、世界各国で活躍できる人になりたいです。

最後に、私は盛岡に生まれ育ったことに誇りを持っていきます。多文化共生であるカナダで、日本との文化の違いに驚く場面もあるかもしれませんが、でも、盛岡の良さに気づくことができると思っています。自分がピロトリアで経験したこと、私達が住む街の良さを、より多くの人へと伝えていきたいです。夢の実現のため、この研修で得た経験を活かし、努力を重ねていきます。